

# Feature

## 特集

# 羽田空港が本格的な国際空港へ。 待望の増発でますます海外が近くて便利に。

今回の特集は、3月30日から国際線が新規就航と増発され大きく生まれ変わり、ますます便利になる羽田空港の国際線についてご紹介させて頂きます。



リバティヒルパケーション  
岩崎 治幸

## North America 北米・太平洋



米国行はシアトルが新たに加わりました。相変わらず羽田を深夜0時前後に出発するフライトパターンが主流です。仕事を終えてからのご出発が可能ですので、旅程に1日余裕が生まれますね。



## East Asia 東アジア



東アジアのメジャー都市へのフライトもますます羽田空港へのシフトを加速しており、全日空のソウル線は羽田のみとなり成田は撤退しました。複数の外国航空会社が乗り入れており幅広い選択肢がございます。羽田と成田、虹橋と浦東、金浦と仁川、松山と桃園... お間違いのないようご注意ください。

2010年10月、羽田空港に新しい国際線ターミナルが完成してから約3年...。ひと昔前は、小さな小さな国際線ビルから出発するのは台湾路線とチャーター便のみだった羽田空港からの国際線。その後、順調に路線数を増やし立派なターミナルへと生まれ変わりました。すでにこの空港からのフライトを楽しまれた方もたくさんいらっしゃると思います。一度でも羽田空港を利用すると、もう成田発着には戻れないのではないのでしょうか。私は以前、羽田に到着し飛行機を降りた瞬間からリバティヒルクラブに戻るまでの所要時間は、なんと66分でした。(その様子は、ブログに掲載されていますのでご覧ください。)

こうして再び日本のゲートウェイの一つになった羽田空港ですが、アジア圏を中心に路線が組まれていて、長距離路線の欧米行きフライト数は少ない上、深夜または早朝の出発枠しか与えられず、大変なスケジュールとなっております。まだまだ成田発着が主流となっております。また、地方から国内線で東京まで移動し羽田

## Europe ヨーロッパ・中東



今回、方面別では一番活発に動いているのが欧州路線です。深夜や早朝に羽田を離発着していた欧州線は、待望の午前出発便が登場します。東京近郊にお住まいの方には本当に便利なフライトスケジュールとなります。大好きな欧州がまた少し近くなります。



## Southeast Asia 東南アジア



東南アジア諸国への路線も大変充実しています。特に、インドネシア、ベトナム、フィリピンとビジネス需要にも応じた新規路線が用意されました。また、羽田発着はナイトフライトがほとんどだったタイやシンガポール路線は、日系航空会社にもデイフライトが設定され選択肢が飛躍的に増え大変便利になりました。

から成田へ荷物を持って乗継をするよりも、地方発着のフライトが充実して空港間の移動が生じないソウル(仁川空港)で乗継いで諸外国へ行くルートを利用する方もかなり多く見受けられていました。

しかし!! 2014年3月30日からは羽田発着のフライトが飛躍的に多くなり、長距離路線では深夜や早朝の時間帯だけではなく、日中の便利な時間帯にもフライトが多く設定されました。また、需要の多い東南アジア行きでは、新たなダイヤストレーションへの路線開設や増便が積極的に行われています。

地方発着の方も、東京を経由しても羽田空港での一度の乗継で済むケースが多くなりますので、負担減と同時に選択肢が大きく広がります。羽田空港は日本の玄関口として本当に便利になります!

フライト数激増に伴い、新しいサテライトやスポット、駐車場の増設などの準備が整った国際線ターミナルにはホテルも新規に併設されました。

チェックインや出入国審査の時、ターンテーブルに荷物が出てくる時、レストランで食事をする時等、きつと今までよりも混雑して時間を要することになりますので、しばらくの間は注意が必要ですね。

さあ、日本のハブ空港としてこの春からの大躍進が期待されている羽田空港から世界各地へバケーションに出発しませんか!

便利になった羽田空港からご旅行される皆様のお手伝いは、是非ともリバティヒルパケーションへお任せ下さい。